

除雪出動式を終え、今年度の除雪作業へ気を引き締める安弘さん。



# 冬の除雪作業を通じて 皆さんの生活に少しでも貢献したい



おざわ やすひろ  
**小澤 安弘**さん (62歳)  
御免在任

金ヶ崎町建設業協会会長兼(株)小沢建設代表取締役。30年ほど前から町道の除雪作業に従事。会社としては50年以上にわたり町道の除雪を請け負う。趣味はドライブ。義母、妻、長男と4人暮らし。

初めての町道除雪は「おっかなびっくりだった」と振り返る安弘さん。結婚後、1992(平成4)年に販売業から建設業へ転職。大型免許等を取得し、以前から会社で請け負っていた町道の除雪に携わるようになった。

除雪作業は朝の通勤・通学時間までに終わらせられるよう、午前1時前後には出勤する。冬期間は常に翌日の天候を気にかけてながらの生活で、夕方から仮眠をとったり昼夜逆転の生活を送ることも。夜は視界が悪くなるため、事故防止や道路を破損をしないよう神経を使いながら作業する。6時間ほど除雪機械に乗り続けることで、作業後にはチェーンを巻いたタイヤの振動が全身に残っていることも多いという。

建設業でも人材不足・高齢化が大きな課題だ。1路線を1人で担当している安弘さんは、降雪が続けば毎日出勤することも。それでも続けてこられたのは周りへの感謝の思いから。「建設業は日頃から多くの人のお世話になって仕事ができている。除雪を通じて、皆さんの冬の生活環境を少しでも改善できれば」と安弘さん。

除雪作業でうれしかったことは、住民から笑顔で「ご苦労さん、いつもありがとね」と言ってもらえたこと。

今後は、「後継者の育成に取り組みたい。地元の若い人にも声を掛けていければ」と力強く話してくれた。

## 広報日記



2023年も残りわずかとなりました。ことは皆さんにとってどんな一年でしたか。コロナの位置づけが変わり、4年ぶりに通常開催された行事に参加した人も多かったのではないのでしょうか。「今年の漢字」は『税』のようです。偶然ですが、本号の3頁にも税に関するお知らせを掲載していますのでご確認ください。ことしも忙しいなか取材に快く応じてくださった町民の皆さん、ありがとうございました。(村口)

人口と世帯		11月30日現在	
		※( )内は前月比	
人口	15,197人	(-11)	
男	7,820人	(-4)	
女	7,377人	(-7)	
世帯数	6,374世帯	(+1)	

町公式 LINE  
情報発信中

